



CHUKOH FLO™ ふくしゃ 輻射放熱シート

PAL-350A

製品概要

熱伝導率の高いアルミフィルムに輻射率の高い放熱塗料をコーティングしたものをテープ加工しております。熱を赤外線等に変換し、放熱します。

特長

- ・ふっ素樹脂を混ぜることにより、耐候性を有します。
- ・発熱体へ直接貼り合わせることで輻射放熱による熱拡散効果を付与できます。
- ・総厚が約110 μ m程と薄いため、スペースの限られる場所や軽量化が求められる箇所への使用ができます。
- ・高周波（@1GHz～6GHz）において約50dB程の減衰効果があります。

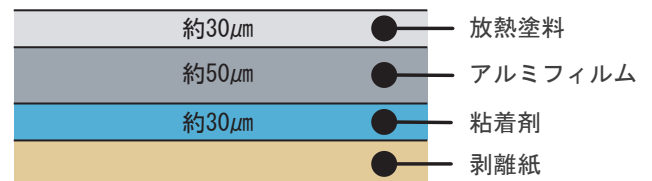
用途例

- ・発熱部品（ICチップ、ダイオード）や筐体の放熱
- ・電磁波シールド

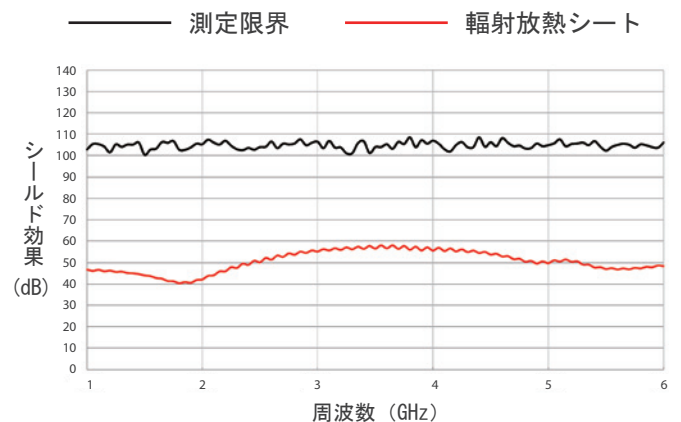
製品性能

試験項目	単位	輻射放熱シート
放熱塗料 輻射率	ϵ	0.91以上
最高使用温度	℃	150

構造



電磁波シールド効果 (1GHz～6GHz)



※KEC法により測定
※上記の数値は測定値となり、規格値ではありません。

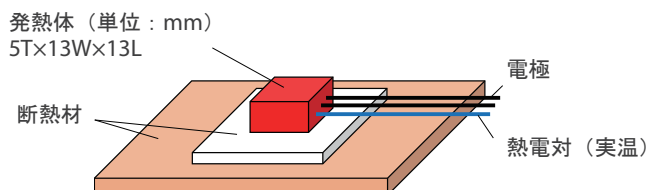
製品規格

厚み(mm)	規格品幅(mm)	長さ(m)
0.11	480	1～45

放熱効果については裏面をご覧ください。

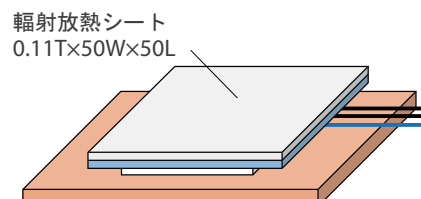
試験方法 発熱体をICチップに見立て、10分後の発熱体の温度変化を計測

【発熱体に何も貼っていない場合】



10分後の発熱体の温度 → 99.3℃

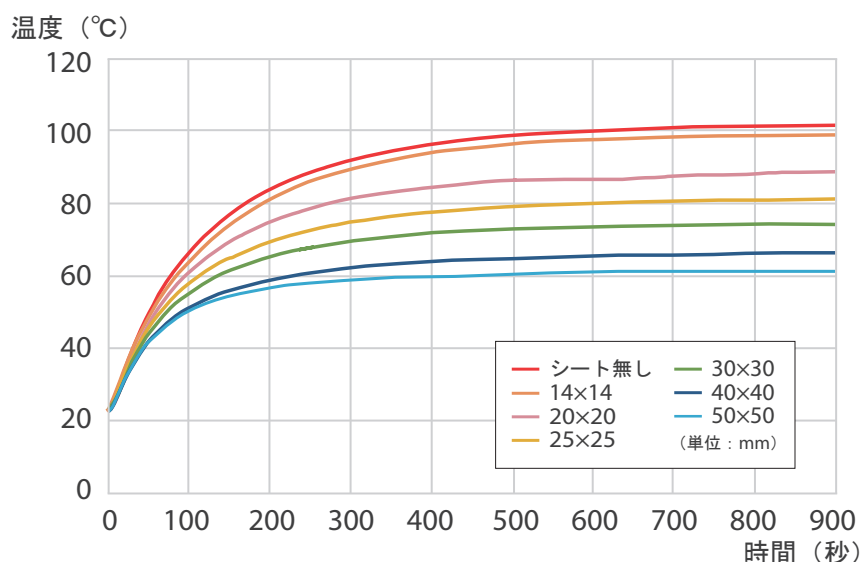
【発熱体に50口の輻射放熱シートを貼った場合】



10分後の発熱体の温度 → 61.2℃

⇒ **38.1℃** の放熱効果

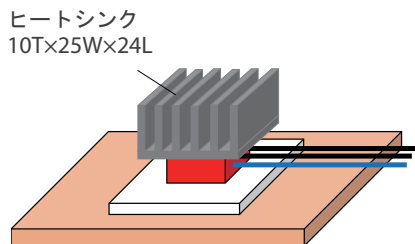
輻射放熱シートは使用サイズが大きいほど放熱効果が高くなります。



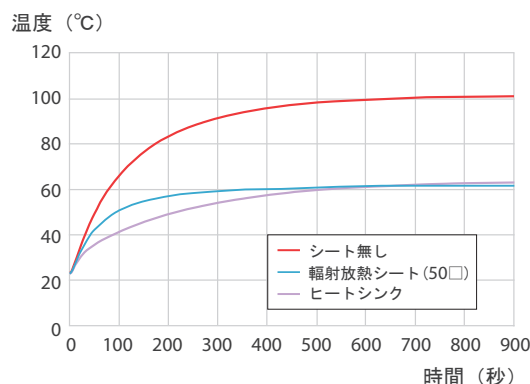
■輻射放熱シート寸法と10分後の発熱体温度

寸法 (mm)	温度 (°C)
輻射放熱シートなし	99.3 (-)
14×14	98.2 (-1.1)
20×20	86.4 (-12.9)
25×25	80.0 (-19.3)
30×30	73.4 (-25.9)
40×40	65.4 (-33.9)
50×50	61.2 (-38.1)

【参考】同じ試験条件でヒートシンクを使用した場合



10分後の発熱体の温度 → 61℃



ヒートシンク
(10T×25W×24L)

II

輻射放熱シート
(0.11T×50W×50L)

同程度の放熱特性！

中興化成工業株式会社

本社 〒107-0052
東京支店 〒107-0052
名古屋支店 〒460-0003
大阪支店 〒532-0003
福岡支店 〒810-0074

東京都港区赤坂1-8-1
東京都港区赤坂1-8-1
名古屋市中区錦2-4-3
大阪市淀川区宮原3-4-30
福岡市中央区大手門1-1-12

赤坂インターシティAIR 26階
赤坂インターシティAIR 26階
錦パークビル 10階
ニッセイ新大阪ビル 16階
大手門パインビル 5階

03-6230-4414 (代)
03-6230-4411
052-229-1511
06-6398-6714
092-724-1411

お問い合わせ : support@chukoh.co.jp



取扱い上の注意

- 医療などの人体に接触する用途に使用しないでください。
- 廃棄は関連法規に従って処理し、焼却は絶対にしないでください。
- 最高使用温度を超えて使用しないでください。
- 製品本来の機能を保持し安全にご使用いただくため、カタログ、安全データシート(SDS)を、WEBサイトからご覧ください。

2024.11.01